



I-ON Communications

Company Profile

2017. 02

I-ON

目次

1. Company Profile

History | Man Power | Organization | Business Area | Awards | Certificates & Patents | Vision | Welfare

2. Products

ICS | IDS | IDAS | ICLAS | ICE | ICAFE | LAMS | iDrive | e.Form | Assist9 | TAMM

3. Customers

Domestic Customers | Global Customers | Partners & MOU | Success Story

Company Profile

Overview

Man Power

Organization

Business Area

Awards

Certificates & Patents

Vision

Welfare

私たち、I-ON Communicationsは1999年設立以来、国内外最大のWebコンテンツ管理システムの導入実績を誇る**韓国代表のコンテンツ管理ソリューション専門企業**です。



I-ONcommunications
Software, **Beyond Expectations!**



社名	株式会社アイオンコミュニケーションズ (I-ON Communications Co.,Ltd)
代表取締役 社長	オ・ジェチョル (呉在哲)
事業分野	S/W開発・供給、システム統合、 S/Wサービス、モバイルサービス
設立年月日	1999年7月5日
役職人数	158名 (2017年 2月現在)
売上高 (ウォン)	2014(106億)、 2015(102億) 、 2016(103億)
所在地	大韓民国ソウル市江南区駅三洞テヘラン口10ビル15 (駅三洞) Tel : +82-2-3430-1200 / Fax : +82-2-3430-1205
日本法人	A205, 3-1-3, Komagome, Toshima-Ku, Tokyo, Japan K.K. I-ON
ホームページ	www.i-on.net

私たちが歩んできた道、それが韓国のCMSの歴史と言っても過言ではありません。
1999年設立以来、優れた技術力に基づいて、韓国・日本・東南アジアなど世界を舞台にグローバル企業向けのコンテンツ管理専門企業として成長してきました。

BEGINNING 1999~2004

- 2004 | CMS「Template基盤のページ生成と管理」で特許取得
- 2003 | 第2回韓国 SW 事業者対象評価「顧客満足度部」優秀者に選定
インターネット企業協会主催「今年のインターネット企業大賞部門」最優秀賞を受賞
- 2002 | (株)アシストと日本国内独占販売代理店3年契約
I-ON 日本法人設立
- 2001 | IOS9001認証
- 2000 | サムスンベンチャー投資、KTB Networkで投資誘致
韓国初CMS「i-publisher 1.0」リリース
- 1999 | I-ON Communications設立

GROWTH 2005~2011

- 2011 | オ・ジェ Chol 代表取締役、知識経済部「SW産業人の日」国務総理表彰受賞
日本ソフトバンクの第1回スマートフォン・タブレット端末ソリューションにて「最優秀賞」受賞
- 2010 | インドネシアモバイル証券取引システムを供給
日本内顧客400社を突破
マレーシア中央政府部MOWにPIMS供給
- 2009 | KTF優秀協会社、MS、ORACLE Gold partnerに選定
- 2008 | ICS5 GS認証(TTA)獲得
- 2007 | 韓国「百万ドル輸出塔」受賞
アメリカ進出、インドネシア「ボレドットコム」から受注
- 2006 | (株)アシストと最長20年契約
イメージングソリューション「レッドファイン社」買収
- 2005 | 日本CMS市場マーケットシェア1位確保
ICS4 GS認証(TTA)取得

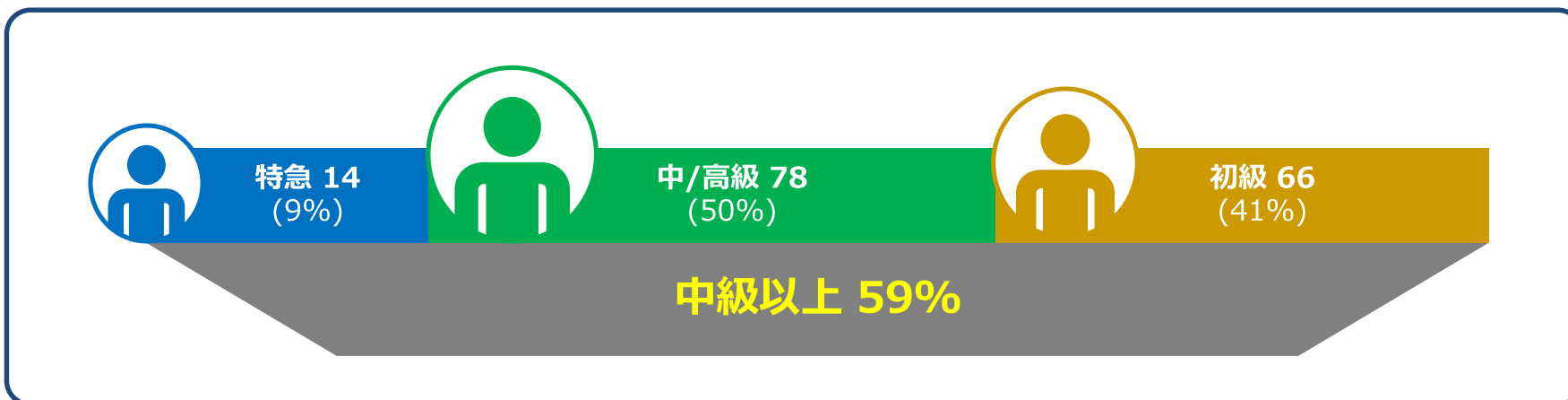
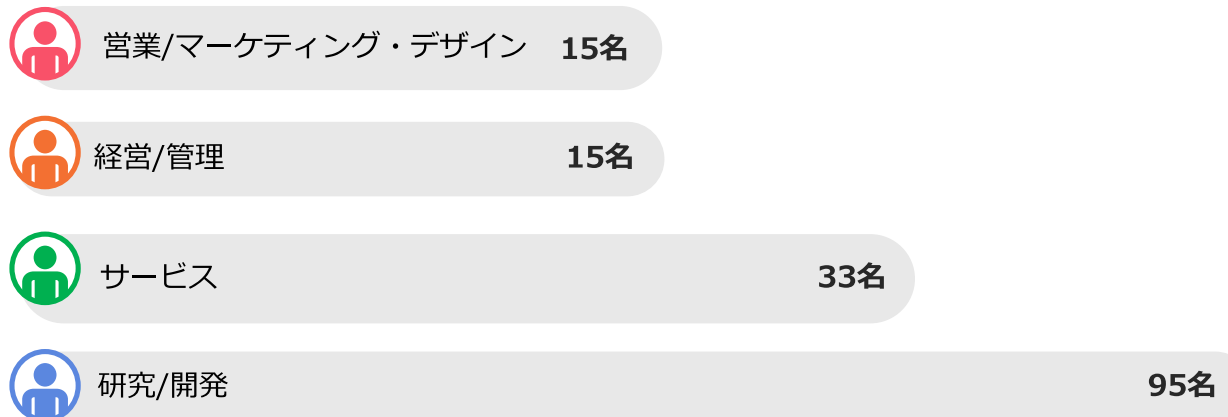
INNOVATION 2012~

- 2016 | I-ON eForm Server v2.0 ソフトウェア品質認証 (GS) 1等級を取得
EUREKA Cluster program- ITEA3で「Digital Backbone」プロジェクトラベル取得
文化体育観光部長官賞を受賞
イギリス GridDuck社とイギリスおよび海外DR市場進出のためのLOI締結
- 2015 | 「第9回 中小企業文化対象」韓国文化芸術委員会で委員長賞を受賞
韓国産業技術振興院(KIAT)の「Friend Company」指定
- 2014 | GartnerのWCM Magic Quadrant ベンダーに登載
Red Herring TOP 100 Asia Winner
ヨーロッパ共同R&Dプロジェクト Korea Eureka Day 受賞
- 2013 | ソウル産業通産振興院の「IP Star企業育成産業」に選定3
- 2012 | 「Web Award&SmartApp Award 2012」3分野で大賞受賞

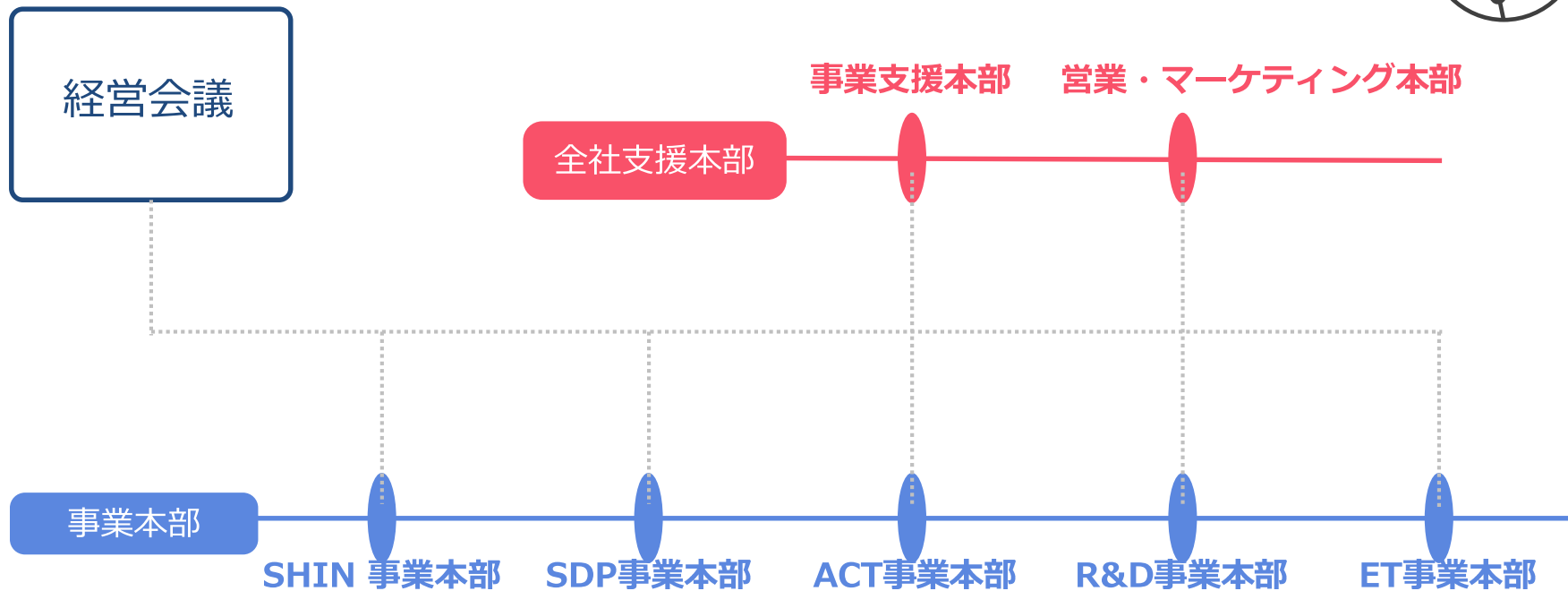
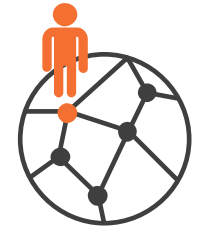


全社員のおよそ80%が研究・開発・サービス関連人材で優秀な専門人材のMan Powerを保有し、お客様が満足して頂ける最上の商品・サービスを提供します。

158名
(2017年 2月 現在)



組織構成は、SHIN、SDP、ACT、R&D、ETの5つの事業本部と
事業支援、営業・マーケティング&デザインの3つの全社支援本部になっています。



Webコンテンツ管理ソリューション、企業コンテンツ管理、コンテンツ流通サービスプラットフォーム、スマートグリッドまで**企画/コンサルティング・分析&設計・開発・メンテナンス・教育・サービス**に至るまでトータルソリューションを提供します。

Enterprise Content Management

- Electronic Document Management
- Web Content Management
- Digital Asset Management
- e-Signature



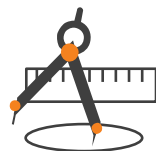
Smart Grid/Smart City

- Distributed Energy Resource Management
- Advanced Metering Infrastructure
- Demand Response Management



Service Delivery Platform

- I-ON Content Ecosystem



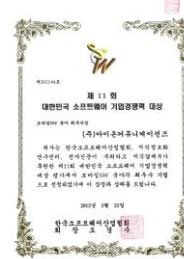
Software as a Service

- TAMM(Event Marketing & Analytic)
- e.Form(Mobile Contract System)
- 2WayPIN(2CH Authentication)
- Assist9(Executive Dashboard)
- iDrive(SaaS based EDMS)



私たちは優れた技術力に基づいて韓国及び海外で多数の受賞実績を獲得しています。

Domestic Awards



産業通常資源部長官賞表彰 (2014)

韓国情報通信技術協会「ソフトウェア製品品質大賞」最優秀賞を受賞 (2014)

特許庁中小企業知識財産経営人大会
スター企業部門最優秀知識財産経営人賞を受賞 (2014)

KIAT 2014 Korea Eureka Day 受賞(2014)

中小企業庁 グローバル強小企業育成産業選定 (2012-2014)

知識經濟部 新ソフトウェア商品 一般SW部門対象 (2012)

Money Today 未来先導有望企業選定 (2012)

中小企業輸出サポートセンタ 輸出有望中小企業選定 (2011-2013)

韓国ソフトウェア産業協会

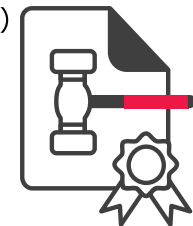
第11回 SW企業競争力最優秀賞 モバイルSW部門 (2012)

第10回 SW企業競争力最優秀賞 KMS/EMC/BMP (2011)

(日) ソフトバンクモバイルソリューション大会最優秀賞 (2011)

ソフトウェア産業人の日記念 国務総理表彰 (2011)

100万ドル輸出塔 (2007) の他多数



私たちは優れた技術力に基づいて韓国及び海外で多数の受賞実績を獲得しています。

Global Awards



2014 Red Herring Top 100 Asia Winner

2014 Korea Eureka Day Award

OpenADR 2.0 a/b Certificate

SoftBank Mobile Solution Competition Grand Prize



私たちのソフトウェアは韓国及び海外で多数の認証・特許を獲得しています。

Certificates & Patents



Certificates

- I-ON e.Form Sever 綠色技術(GT)認証獲得
- ISO9001 品質システム国際認証
- ソフトウェア品質認証書-GS(GoodSoftware)認証
- KT마크科学技术部 新技術認証書
- 企業付設研究所認証書



Patents

- ウェブページ上で漫画ストーリー形式の対話をサポートできるモバイルメッセンジャシステム(2013)
- [日本]電子契約申込書を利用した統合認証システム(2012)
- 需要反応イベントを通じた電力使用量の節減システム及び利用方法(2012)
- 電力の節減量の補償システムの運営方法(2011)
- ウェブサイトの統合管理システム及びこれを利用した管理方法(2007)の他多数

Vision

世界100大ソフトウェアサービス企業（売上高2、500億ウォン）

Mission

ミッション: 純利益110億ウォン達成、B2Bサービスを3つ以上オープン

Core Values

個人の力量
(情熱と目標)

顧客/同僚と
の良い関係

変化と革新に
対する挑戦

ソフトウェア
技術と
サービス

文化
(自由と責任)

グローバル

Value Proposition

自律性と責任をもつ社員が期待を超える製品とサービスを提供するために挑戦し続ける
グローバルソフトウェアサービス企業

Positioning Statement

国内だけでなく、世界で競争力を持つ企業として、個人とお客様の発展に寄与し、創出した利益を株主及び社員と共有するグローバルソフトウェア企業

Motto

Software、Beyond Expectations

社員のスキルアップ、安定した生活を送るための福利、個人能力を向上させるための多様な教育制度など、多様な機会を提供するよう努力します。

▶テレビでも報道された I-ON Communicationsの福利厚生制度



No	会社名
1	Jennifersoft
2	Acebed Group
3	TourBaksa
4	Nexon
5	Tmaxsoft
6	Ncsoft
7	Sempio Food
8	Midas IT
9	Younglim Softlab
10	handstudio
11	Woowa brothers
12	I-ON Communications
13	Innored
14	Daekyo
15	Abbvie
16	Fleishmanhillard Korea
17	Brainzsquare
18	Goldendew
19	Kang Lim CSP
20	Kyobo Life

Products

ICS(I-ON Content Server)

IDS(I-ON Deploy Server)

IDAS(I-ON Digital Asset Management System)

ICLAS(I-ON Content Log Analytics Server)

ICE(I-ON Content Ecosystem)

ICAFE(I-ON Content Application Framework & Engine)

LAMS(Load Aggregator's Management System)

iDrive(SaaS based EDMS)

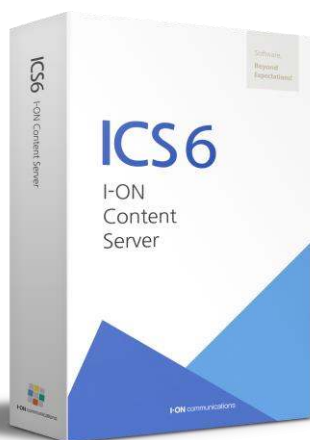
e.Form(Mobile Contract System)

Assist9(Executive Dashboard)

TAMM(Ticket Admission Marketing & Management)

ICSは、韓国最初クラウド基盤で実現した次世代Webコンテンツ管理ソリューションで、
韓国シェア1位、日本シェア1位と一番多くのお客様から選ばれている韓国代表のCMSです。

コンテンツ管理 システムの特徴



正確性 & 便利性

企業用ソフトウェアを選択する上で最も大事なことは「どれだけ多くのお客さんからご利用いただいているのか」のことで、I-ON Content Serverは以下のように多くのお客様にご好評・ご利用いただいております。

KBS、MBC、SBS、HANA銀行、韓国銀行、KB金融、SHINHANカード、サムスン生命、ING生命、朝鮮日報、電子新聞、ソウル大学、ヨンセ大学、大田広域市、兵務庁、大統領記録館、韓国道路工事、韓国コンテンツ振興院のほか

最高の安定性と技術力

インターネットサービスにおいて最も重要なのはコンテンツであり、コンテンツサービスを利用するにあたり、最も重要なポイントは[安定性]です。

韓国代表のコンテンツ管理システム「I-ON Content Server」は該当業界でもっとも長い歴史と伝統を保有しており、国内約350社、海外約600社のお客様からご利用いただいております。

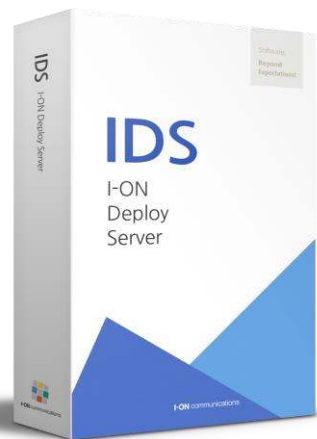
ユニークな開発哲学

2004年[ウェブサイトの構築と管理方法]/2006年[ウェブサイトの統合管理システム及び該当システムを利用した管理方法]で特許を取得しました。

アクションフィールド/アクションタグのように他社と差別化した独自の開発思想に基づいて技術を開発しました。もっと細分化したコンテンツ/デザイン/開発コードを単位として結合する」というユニークな開発思想を元に製品を設計・開発しました。このようなユニークな開発哲学は他製品と大きい差別化を図ることでより早く、簡単にWebサイトを構築・運営することができます。

IDSは、複数のサービスサーバを運用し、同時配布する必要がある多量のコンテンツ資産を保有する企業向けの**コンテンツ配布自動化ソリューション**です。

コンテンツ配布システムの特長



自動化されたファイル配布

手作業による問題点の解決、簡単なファイル管理をすることでサイトのアップデートが迅速になります。管理画面では簡単な配布機能、複数サーバに対する同時配信、スケジュールによる配布機能、承認フローによる配布機能、配布履歴の管理機能、配布オプションなどを提供します。

安全で便利なファイル管理機能

膨大な量のファイルを配信/管理が可能なツールにより管理業務の効率を上げます。管理画面で簡単な配布機能、承認フローによるアップロード機能、アクセス権限の付与機能、バージョン管理機能、ファイルシンク機能などを提供します。

現在運用環境にそのまま適用可能

従来の開発ツールとは違って、既存の運用環境にそのまま適用できる運用ツールです。

- ・静的プログラムの分析(Static Program Analysis)理論を利用して、開発が完了される前にプログラムの主な不具合を検出するソースコードの分析ツールを提供します。
- ・開発環境でウェブ接近性診断ツールを利用して不具合を検出し、Webサイトの接近性の状態をモニターリングします。
- ・検証が完了したソースコードに限りて運営環境に反映します。それによって保安の確保とウェブ接近性を維持できる最適化されたWebサイトの運営が可能となります。

IDASは、デジタル資産管理ソリューションであり、企業のデジタルコンテンツに対して好循環プロセスを提供しています。デジタルコンテンツ（デジタル資産）を体系的に収集、管理、配布、拡散するためにフレームを提供する統合インフラシステムです。

デジタル資産管理 システムの特徴

好循環のためのフレーム提供

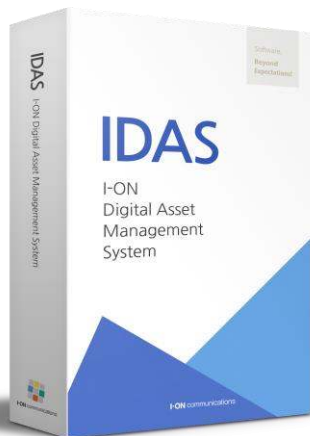
デジタル資産管理ソリューションはデジタルコンテンツの好循環を提供しており、企業内に散在するデジタルコンテンツを体系的に収集、管理、配布、拡散するために多様なフレームを提供します。このような構造により、企業内外の環境の変化に柔軟な対応が可能となり、企業力を向上するための核心インフラです。

システムの安定性及び拡張性

デジタル資産管理ソリューションは数多い事業を通じて、その安定性と拡張性を認められたソリューションです。企業内で保有する様々な形式のデジタルコンテンツ(文書、画像、動画、サウンド)を安全に管理し、既存システムとの最適化されたインタフェースを通じて、デジタルコンテンツの活用度を高めます。

デジタルアーカイブ (archiving) 支援

企業のデジタルコンテンツの活用及び利便性を向上するために、それぞれのデジタルコンテンツの特性に合わせたアーカイブ機能を提供します。これによって、デジタルコンテンツの活用性を強化し、多様な機会の創出にもつながります。



ICLASは、顧客との絶えないコミュニケーションを通して顧客がイメージしやすい説明や数値を明確に提示することで顧客に合わせたサービスを提供するための効率的な運営サポートを提供しています。

コンテンツのログ分析 システムの特徴

データの大容量処理およびスピーディな精製処理

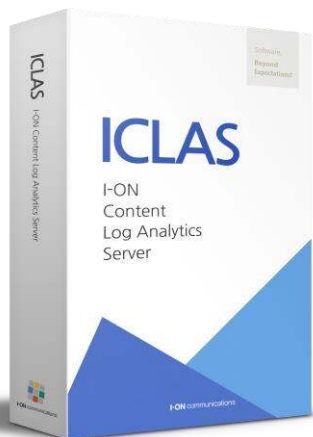
1時間当たり20万件程度のレコードを5分以内でスピーディに精製します。I-ON Content Log Analytics Serverは自社で開発した分散サービスプラットフォームのARadonを基盤として作成されました。分散処理ができる設計で、システムを拡張すると大量の処理が可能となります。また、分散データベースの一つであるMongoDBを基盤として作成され、商用データベースに比べて低コストで運用できます。

基本に充実したログ分析システム

接続量/ページ分析/訪問経路の分析/訪問者の分析/ナビゲーション分析/広告効果の分析/コンテンツ-商品分析/シナリオ分析/システム分析など9つの大項目と78つの小項目の分析レポートを提供し、Webサービスに対して十分なデータを把握することができます。

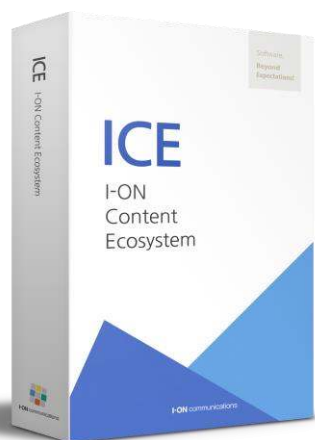
I-ON Content Serverとの連動

I-ON Content Log Analytics Serverにより分析された内容は自社で開発したI-ON Content Serverと様々な形態で連動します。I-ON Content Serverのダッシュボードマネージャを通してすぐにI-ON Content Log Analytics Serverで確認したいデータを表示します。特定のコンテンツ(アーティクル)基準でページのビューア数などを確認できるインタフェースを提供することで便利性を高めました。



ICEは、コンテンツの登録、管理、商品生成、配布、削除、精算、統計など、コンテンツのライフサイクル全般について、企業のニーズを処理・統合管理する高仕様のプラットフォームです。複合的なモジュール化の分散処理技術を基盤として、Adaptive Streaming、Deviceで引き継ぎ、テンプレート基盤のWeb Publishingサービスの生成、反応型Webや反応型UIなど、N-Screen環境に最適化したサービスを提供します。

コンテンツエコシステムの特徴



● Tenant別独立性

各事業者別独立したサービスや管理ルームを提供します。コンテンツやUIの選択、自由な商品構成、価格や表示ルールの設定が可能です。

● 高仕様の流通システム

コンテンツの登録・管理・商品生成・配布・削除・精算・統計など、コンテンツのライフサイクル全般において企業ごとに様々なニーズに対応し、統合管理できる高仕様の流通システムです。

● 複合的にモジュール化する分散処理技術

モジュール化を通じた分散処理(Cacheable, Sharded, Functional)、モジュール化して分散処理するためのAPI Cluster、二重キャッシュ(Cacheable Service, API Local Cache)などを具現します。

● N-Screen 環境の最適化

Adaptive StreamingとDevice間で引き継ぎ、テンプレート基盤のWeb Publishingサービス、反応型Webや反応型UIを支援します。

● 多様なサービスの提供

放送チャンネル、VOD、NVOD(SO自体のチャンネルサービス)、付加サービス(Mash-upサービス)など様々なサービスを提供します。

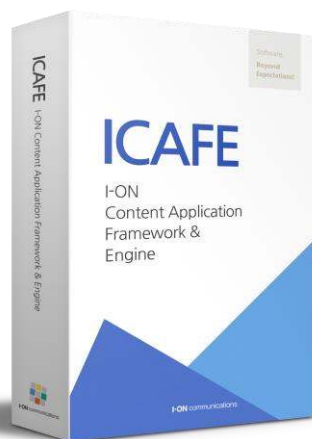
● 管理・運用の便利性

各事業別Work Spaceの生成、UI適用及びリニューアル、テンプレート基盤の管理システム、トラフィック/視聴統計/人気コンテンツなど、全体または個別SOに必要なデータを算出します。

I-ON Communicationsは、Webコンテンツ管理製品の開発からスタートし、モバイルコンテンツ流通に必要な各種技術と国内外での遂行経験を積み重ねてきました。

こうしたコンテンツ管理の核心技術と国内外IT企業での業務やコンサルティング経験を結合した統合流通システムを提供しています。さらに、主なコンテンツの生産/流通企業との協業を通じて、強力な有無線Service Delivery Platform(SDP)を提供しています。

ICAFEシステムの特徴



●設定基盤のコンテンツモデリング

JSR-283(Content Repository for Java 2.0)をサポートするコンテンツのモデリング機能を利用して、別途開発する必要なく単純な設定だけでコンテンツモデリングができます。

運用中も必要に応じて簡単な設定を行うことでコンテンツモデルを変更することができます。

●迅速なコンテンツ管理システムの構築

ICAFEは設定基盤のコンテンツモデリングを通じてコンテンツモデルを定義し、コンテンツ管理に必要な基本機能(ユーザ管理、権限管理、バージョンing、ワークフロー、関係、検索など)をプラグイン形態で提供するため、迅速にCMS(Contents Management System)を構築します。

●柔軟なコンテンツサービスの応用開発

コンテンツを提供するサービス応用を開発する場合、ICAFEはコンテンツへのアクセスに必要な様々なTagLibraryを提供して簡単に応用開発することが可能です。

別途のSQL及びコーディングを最小化することで、コンテンツモデルやプロセスが変更されても一部だけ修正して適用できるので、ビジネスのニーズへ柔軟かつ迅速に対応します。

●キャッシュ基盤の安定的な性能を保証

ICAFEは毎回DBなどのリソースにアクセスせずに変更時のみアクセスするキャッシュ方式のため、大規模のトラフィックが発生した場合もリソースへのアクセスによる遅延事象を最小化して安定的な性能を保証します。

●強力なAPI提供

ICAFEの基本機能や必要に応じて直接開発した機能は全てAPIとして提供します。

また、IP基盤のAPIのアクセス制御やAPI使用申請の管理機能を通じてAPI配布を管理することができます。イベント管理及びイベント通知機能を通じて、コンテンツの登録/修正/承認などのイベントが発生する場合、システムに自動送信する機能を提供します。

LAMSは、需要反応（DR, Demand Response）市場の参加顧客別に資源登録のためのRRMSE評価段階から参加顧客別の資源管理、(遠隔)ゲートウェイデバイス認証・計量データ管理、信頼性・経済性DRスケジューリング/シミュレーション、そして減縮した結果による精算段階まで対応します。
需要管理事業に必要なすべての段階をシステム内の1つのプロセスに一元化した、効率が高く便利な需要管理事業者向けの運用システムです。

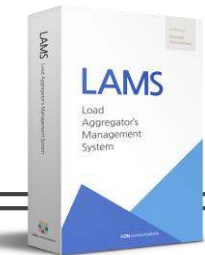
LAMS の特徴

正確性 & 便利性

- I-ON LAMSは少人数でも需要管理事業が対応できるように、需要管理事業に必須なすべての機能をシステム化しています。韓国電力公社(KEPCO)のAPIから提供される参加顧客別のI SMART DATAを通じて、MAX4/5、MID6/10、SAAオプションによるRRMSE(Relative Root Mean Squared Error)のシミュレーションが可能です。また、CBL(Customer Baseline Load)も「RRMSE、信頼性DR、経済性DR」各状況によってボタンを1回クリックすることで素早く簡単に計算することができます。
- 需要管理事業者や各参加顧客別に提供するダッシュボードには、最小1分単位で収集した計量データを直ちにグラフで具現することで、資源別&参加顧客別の電力使用量および減縮量をリアルタイムにモニターリングします。また、KEPCO APIを通じて提供されるI SMART DATAと比較することで、より正確な参加顧客のコンサルティングが可能となります。
- そして毎週次別に参加顧客の減縮量による精算がシステム化され、ボタンを数回だけクリックすることで、信頼性&経済性DR別の実績金&違約金の計算、参加顧客の承認プロセスまで、すべての精算プロセスを自動化してDR事業者の精算業務の負担を大幅に減らします。

柔軟性&拡張性

- I-ON LAMSは、電力市場の運用ルールをベースとしたシステムです。また、韓国国内で最初にOpenADR2.0a/b認証を取得したノウハウをベースに、OpenADR基盤で給電の指示時に、イベントの送受信やレポート機能を提供します。
- RRMSE、CBLモジュールを別途管理することで、2014年11月始まった需要資源の取引市場が発展していく中で生じる運用ルールの変更がシステムに自動でアップデートされ、需要管理事業者が正しく意思決定し、顧客管理ができるように支援します。
- 需要管理事業者に必要な「参加顧客の登録から最終精算金の配分」まですべての段階がシステム化しているだけでなく、需要管理事業者別に差別化した需要資源の運用&管理のノウハウを、システム内に別途機能としてカスタマイズすることが可能です。

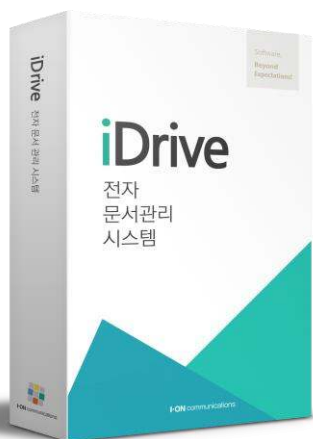


保安性 & 履歴管理

I-ON LAMSシステムを導入した後に発生するすべてのイベントデータは暗号化して安全に管理します。
イベント別に発生されるログは、メタデータ単位で分離され、需要管理事業者が必要とする情報だけを抽出して提供します。
信頼性DRと経済性DRイベント参加による「減縮日、時間、時間帯別CBL、減縮目標、減縮量、減縮履行率、未履行率、CBL参照日、SMP」など詳細な情報を提供することで、いつでも求める情報を簡単に把握できます。提供されるデータはEXCELファイルでダウンロードして別途管理も可能です。

iDriveは、文書の作成、承認から保存・廃棄まで、文書の全てのライフサイクルを管理します。企業のビジネス文書の統合管理に最適で、ペーパーレスの業務環境を実現し企業の生産性向上を実現します。

電子文書管理システム の特長



便利な協業管理機能

従来の文書管理システムは共有や移管が複雑だったことに比べて、iDriveでは簡単に共有 / 移管することができます。共有URL機能を通じて外部からも文書へのアクセスすることが可能で、共有したいときに一時的にURL生成することができます。また、部署移動や退社時に特定のユーザを指定することで、即時文書を移管することができます。

文書の中央化

個人のPCで作業する全ての文書は、中央化サーバに自動保存・統合管理されます。PCに別途プログラムを設置し実行して、全ての文書を中央化サーバに自動でアップロードできる機能を提供します。継続的に文書中央化するために、初期設定で個人PC内の文書をローカルに保存しないように設定することが可能です。

サービスバージョン提供

ユーザにサービスバージョンを提供することで、ソリューション費用の負担を減らします。サービスバージョンは毎月ご利用分のみ支払う割安い価格プランを利用することでエンタープライズバージョンと同様に製品を利用できます。

e.Formは、既存の商談/契約/データ保存作業の繰り返しから、営業全般のプロセスをワンストップで解決します。弊社の電子フォームソリューションは、タブレットPCで電子フォームを利用することで商品の宣伝、商談、契約、システムにデータの保存までの作業をワンストップで処理するので、迅速な業務処理とともにコストの削減を実現します。

電子フォーム システムの特長

簡単で使いやすい電子フォームシステム

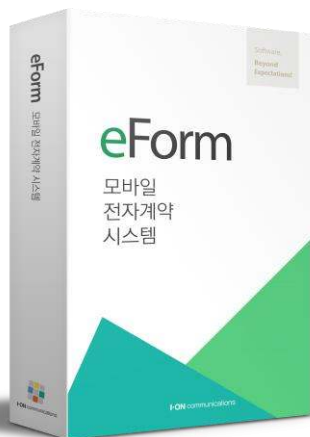
使い慣れた紙の書式をスキャンして「Visual Web Editor」を使用し、フォームを製作することでタブレットPCで電子フォームの作成がより簡単になります。また高解像度にしたい場合はベクターファイルで画像に転換して使用することも可能です。

迅速な業務処理が可能

既存の紙業務にかかわるすべてのデメリットを解消します。データの手入力、身分証の撮影、Fax送信、契約書の保管にかかる手間やコスト問題をタブレット端末を利用することですべて解決します。

拡張可能なシステム

単なる電子契約システムだけではなく、モバイルカタログ、シミュレータ、そしてSFA(Sales Force Automation)までモバイル営業に必要なあらゆるシステムと連動します。他システムと簡単に連携するために分散リポジトリサービスを基盤として開発され、約200以上のAPIを提供します。



電子フォームは e.Form

いつ、どこでもすべての契約書を
体系的かつ一元的に管理します。

www.eform.io

ERP、グループウェアが提供しない**自動統計レポート機能**をもとに**未来予測と危機管理が可能な新しい経営が始まります**。既存の経営方式から脱皮し、もっと正確なデータ基盤のシステム経営を行うことができます。

CEOの悩みを解決

会社の経費が計画通り使われているのか
会社の資産はちゃんと管理されているのか
業務がプロセス通り行われているのか
大体の企業が社内の状況を把握するのに沢山の時間を必要とします。
ASSIST9では会社の現状を一目で把握することができます。

CEOがほしい機能を提供

会社の費用および売上の情報
営業活動または取引先の詳細
社員一人ひとりまたは社員に与えられた事務用品必要な情報を得るためには担当者の報告書を待たなければなりません。
ASSIST9は上記のような情報をリアルタイムで提供します。

17年間積んできた経験をもとに開発

既存のグループウェア、会計プログラムは複雑で使用することが難しいため、中小企業に最適化されたサービスが必要となってきました。多年間の企業ビジネス事業を通して直接開発した経営者ダッシュボードシステム「ASSIST9」で自社に合わせた最適なサービスを利用することができます。

ユーザ向けに教育を行います

ユーザ向けの教育を受けることで
初歩者も簡単に使用できます。

PCと同様なモバイル向けOffice

ほとんどの時間を社外で過ごすCEOや役員のために、モバイルでもPCと同じ環境で接続することができます。
多様な接続環境に対応します。

システム経営のスタート Assist9
www.assist9.com



TAMMは国内のKLPGA、KPGA大会を簡単に楽しむことができます。
TAMMを通して選手たちのプレーを観覧しながら、現場の雰囲気味わいましょう！

モバイルイベント

入場時にもらえる商品や推薦商品の情報を速やかに通知して受け取ります。

モバイル大会情報

大会の基本情報に加えて選手の位置、リーダーボード、スコアなどの情報をリアルタイムで提供します。

好きな選手情報を提供

好きな選手のニュースや映像、写真など多様なチャネルごとに情報を取得・提供します。

ユーザは生々しい経験の喜びを、主催、運営者は大会を効率的に運営し、有効なユーザと継続的に接点を持つことができます。



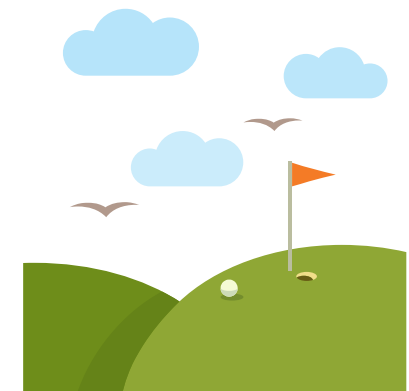
大会運営または選手-ユーザ間サービスデータを分析することで大会を進化させることにつながり、ユーザはより満足感を得ることができます。

TAMM 駐車

計画に合わせた駐車運営をすることで快適な駐車管理が可能です。

TAMM ラウンジ

TAMMとの協賛ブランド商品を触ったり、使用してみたり、味わうことで多様な体験ができます。



BE EASY, HAVE FUN
www.tammteam.com

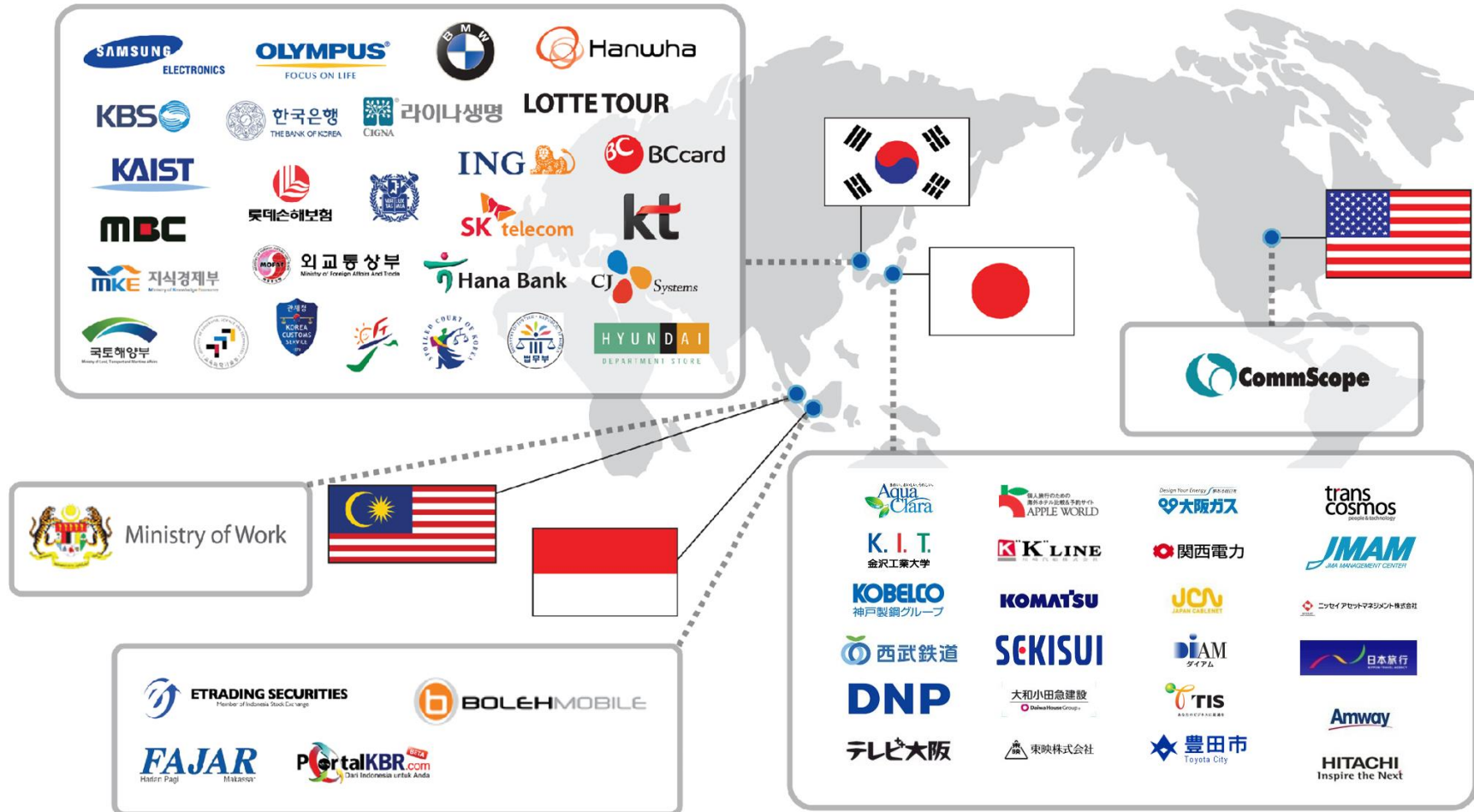
Customers

Customers

Partners & MOU

Success Story

ICS (I-ON Content Server) は16年間コンテンツ管理分野でLeading Providerとして、製品の信頼性と安定性を全世界で検証されたソリューションです。



I-ON Communicationsは、製品の技術力と優秀な品質、顧客に対する信頼性に基づいて日本ソフトウェア市場のWCM分野で2007年~2013年の市場占有率1位となりました。

海外市場で認められたグローバル標準の技術力で2017年も世界中のお客様に向けてコンテンツ管理ソリューションを提供していきます。

日本での導入実績「530社」 突破!



世界第2位の大手ケーブル製造メーカーの**コムスコープ**社にCMSトータルソリューションを提供、Webガバナンス(Governance)の一環として13カ国語のグローバルサイトを構築しました。

インドネシアのBoleh.comのモバイルコンテンツ管理プラットフォームをSDP (Convergence Service Delivery Platform)で構築しました。さらに2010年**マレーシアの中央政府部署MOW**に購買情報管理システム(PIMS)を構築、**インドネシア証券会社**にMTSを構築しました。

なお、2012年**インドネシアのポータルサイト(iyaa.com)**を構築し、グローバルコンテンツ管理専門企業として海外マーケットを拡大しています。

USA, Indonesia, Malaysiaなど海外進出！



I-ON Communicationsは、**韓国のみならず海外でも数多いパートナーシップを維持**しており、**様々なMOU締結**を通じたソフトウェア産業の発展に寄与、人材育成や確保など社会貢献活動にも最善を尽くしています。



Mbizer
(2015.06.24)

シンガポールのCRMソフトウェア
供給業者(www.mbizer.com)と
モバイル電子契約システム「e.Form」
のパートナーシップおよびリセラー契約
を締結



**BKソリューション、
MWストーリー** (2015.04.28)



事務業務支援のトータルソリューション
「Documan」MOUの締結

SaaS基盤の電子文書管理システム
「iDrive」結合

Partners



I-ON Communications
CORE VALUES

お客様中心の
サービス

e-Business
Solution

変化と革新
への挑戦

34 | 2012 마켓리더

SW

전자신문
2012년 12월 4일

아이온커뮤니케이션즈 I-ON communications I-ON Communications

웹콘텐츠관리 솔루션 日시장 '1위'

아이온커뮤니케이션즈(대표 오재철)는 1999년에 설립된 콘텐츠관리시스템(CMS) 전문 기업으로, 국내 시장에서 뿐만 아니라 일본 시장에서도 외산 솔루션과 밀접히 겨뤘던 1위 자리를 지키고 있다.

주력 제품인 웹콘텐츠관리(WCM) 솔루션 '아이시에스(ICS)'는 한국과 일본에서 독보적인 위치를 차지하고 있다. 마이크로소프트, 인터우본 등 글로벌 기업을 제치고 1위를 기록하고 있다. 이 제품은 현재 한국, 일본뿐만 아니라 미국, 인도네시아에도 공급돼 글로벌 솔루션으로 성장하고 있다.

아이온커뮤니케이션즈는 CMS 분야의 전문 솔루션을 지속적으로 개발, 시장 개척해왔던 것이 성장 견인차 역할을 해왔다. 디지털자산관리시스템(DAM) 솔루션인 '아이디스(IDAS)'는 국내 기술로 개발된 유일한 솔루션이다. 전자서신관리시스

아이온커뮤니케이션즈 WCM 솔루션 'ICS'는 일본서 독보적 위치를 차지하고 있다. 2012년 사무실을 마치고 전 직원이 파이팅을 외치고 있다.

아이온커뮤니케이션즈는 국내 최초로 JCR(국제 표준 콘텐츠 리퍼지토리)를 기반으로 개발된 제품이다. 우수한 기술력은 해외 시장에서도 통했다. 회사는 국제 표준 'JCR'을 준수하는 클라우드 플랫폼 '가이아(Gaia)'에서 운용되는 모바일 전자 계약 솔루션도 개발했다.

이 제품은 일본 소프트뱅크에서 주최하는 모바일 개발대회에서 국내 기업 처음으로 최우수상을 수상하기도 했다. 현

재 일본 시장에 제품이 공급되고 있다. 모바일 분야에서도 기술 저력을 뽐내고 있다. 모바일 전자책을 개발, 한국인턴쉽산업협회에서 전자책 분야 최우수상을 수상했다.

이런 모바일 부분의 역량을 인정받아 지난해 한국소프트웨어산업협회에서 주최하는 SW기업경쟁력대상에서도 모바일 부문 최우수상을 수상하는 영예를 안았다.

아이온커뮤니케이션즈(대표 오재철)는 기업용 콘텐츠관리(ECM) 시스템을 공급하는 ECM 대표 기업이다.

아이온커뮤니케이션즈는 콘텐츠관리시스템(CMS)과 디지털 자산관리시스템(DAM), 콘텐츠서비스딜리버리플랫폼(SDP), 전자서신관리시스템(EDMS) 등 ECM 전 분야 제품을 보유하고 있다.

지난해 모바일 계약 솔루션 'e-form'을 출시한 아이온커뮤니케이션즈는 일본 소프트뱅크가 주최한 모바일 개발대회에서 최우수상을 수상, 소프트뱅크와 공동 영업을 통해 일본 시장에 제품을 공급하고 있다. 이 밖에도 50여종 모바일 애플리케이션 및 솔루션을 보유하고 있다.

최우수상 -한국SW산업협회회장상

기업용 ECM 시장 주도

아이온커뮤니케이션즈



오재철 사장

아이온커뮤니케이션즈는 콘텐츠관리시스템(CMS)과 디지털 자산관리시스템(DAM), 콘텐츠서비스딜리버리플랫폼(SDP), 전자서신관리시스템(EDMS) 등 ECM 전 분야 제품을 보유하고 있다.

지난해 모바일 계약 솔루션 'e-form'을 출시한 아이온커뮤니케이션즈는 일본 소프트뱅크가 주최한 모바일 개발대회에서 최우수상을 수상, 소프트뱅크와 공동 영업을 통해 일본 시장에 제품을 공급하고 있다. 이 밖에도 50여종 모바일 애플리케이션 및 솔루션을 보유하고 있다.

아이온커뮤니케이션즈 '아이온 이폼서버'

주요 특징 ▶ OS:윈도7, 맥OS 등 ▶ 모바일 기기로 계약서 다운로드, 작성, 전송 가능 ▶ 문의:070-8850-1346

모바일 기기로 계약서 작성·전송

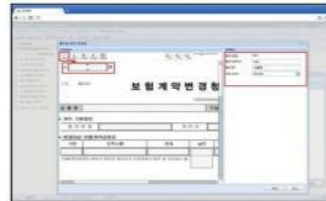
아이온커뮤니케이션즈(대표 오재철)는 모바일 계약서 시스템 '아이온 이폼서버(I-ON eForm Server)'를 출시했다.

기존 종이 계약 방식은 고객이 작성한 계약서를 스캔한 후 광학문자판독(OCR) 소프트웨어를 이용, 해당 내용을 추출하고 종이문서를 이미지로 저장하는 등 복잡한 절차를 거쳐야 했다.

이 과정에서 OCR소프트웨어의 낮은 인식률, 문서보관 및 고객정보 유출 문제 등 많은 걸림돌이 있었다. 아이온 이폼서버는 이 같은 문제를 해결, 종이문서를 쉽게 전자서신으로 변환할 수 있게 했다.

전자화한 서식지는 아이패드나 갤럭시 탭 같은 모바일 기기에서 실시간으로 내려 받아 해당 내용을 바로 작성, 전송할 수 있다. 또 전자서신 인증을 보완하기 위해 서명, 신분증 촬영, 음성, 타임스탬프 등 다양한 인증 모듈을 탑재, 보안성을 높였다. 이 제품은 지난해 7월 일본 소프트뱅크에서 주최한 '모바일 솔루션대회' 공모전에서 최우수상을 수상한 바 있다. 이를 통해 일본 파트너사와 추가계약을 완료했다.

아이온 이폼서버는 애플 아이패드, 삼성 전자 갤럭시탭을 지원한다. 향후 마이크로소프트 윈도 모바일 플랫폼도 지원할



수 있게 업그레이드할 예정이다. 또 아이온커뮤니케이션즈는 전자철약 업무만이 아닌 상품 설명, 가격 시뮬레이션, 영업지원시스템(SFA) 등의 모듈 연동을 통해 고객과 첫 만남부터 계약까지 전 과정을 원스톱으로 제공하도록 시스템을 업그레이드해 나갈 계획이다.

“종이 서식 번거로움 없어 영업력 향상”

“휴대폰 가입부터 보험, 렌탈신청까지 다양한 계약서를 쓰면서 살지만 언제까지 종이 계약서의 불편함을 감수해야겠는지? 간단히 내려받고 작성, 전송까지 가능한 전자 계약 솔루션이 필요하다는 생각이 이 제품을 개발하게 됐습니다.”

오재철 아이온커뮤니케이션즈 사장은 “모바일 계약서 시스템 아이온 이폼서버를 이용하면 상품 계약을 위한 전자 계약 서식지가 내장돼 있어 종이 서식을 휴대해야 하는 번거로움 없이 단말기만을 휴대, 영업력 및 매출을 향상시킬 수 있다”고 설명했다.

이 회사의 모바일 계약서 시스템은 지



오재철 사장

출할 계획이다.

일본 외에도 말레이시아, 인도네시아, 중국 등 동남아 시장에도 지속적으로 영업을 확대할 방침이다.

I-ON Communications VISION

Global Top 100 Software Service Company

동아일보 제2835호 © Hidden Champion 증권 정보기업 2012년 9월 24일 월요일

“해외서 사업 키울 것”... 그 독심에 반한 日시장

■ SW개발업체 아이온커뮤니케이션즈 오재철 대표

“사업을 키우기 위해서 반드시 해외로 나가야 한다는 강한 신념이 있었죠.”

소프트웨어 개발업체인 아이온커뮤니케이션즈의 오재철 대표(43)는 성장의 원동력을 묻자 이같이 대답했다. 오 대표는 1999년 법인 설립과 동시에 일본으로 전가 적극적인 영업을 했다. 하지만 아무런 연구도 없는 일본에서 이렇듯 알려지지 않은 신생 회사가 영입하기는 쉽지 않았다. 그는 “식당, 술집 가릴 것 없이 고객이 될 만한 업체 사람들이 자주 오는 곳이라면 어디든 갔다”고 말했다.

일본 내 거래처를 하나씩 늘려가던 2004년, 제품이 문제가 있다는 한 일

본 업체의 항의에 오 대표는 국내 사업을 임직원에게 맡기고 일본으로 건너가 문제를 해결하기 위해 몰두했다. 다양한 제품이 아니라 사용 방식에 문제가 있었다는 사실이 밝혀졌고, 오 대표의 신속한 대응은 일본소문을 타격했다. 일본 내 판매 대리점은 2009년 아이온커뮤니케이션즈와의 계약을 20년 연장했다. 변화 속도가 빠른 소프트웨어 업계에서는 이례적인 일이었다. 오 대표는 “핵심감을 갖고 신속하게 대처했던 것이 신뢰를 증시하는 일본 업체들한테 좋은 인상을 준 것 같다”고 말했다.

아이온커뮤니케이션즈는 현재 일본 기업 450여 곳과 거래하고 있다. 회사는 “일본 웹사이트 관리 소프트웨어에 시장에서 30%의 점유율로 업계 1위 수준이며, 지난해 해외시장에서 25억 원의 매출을 올렸다고 설명했다.

● 역발 소년, CEO가 되다

아이온커뮤니케이션즈는 비정형 데이터를 관리하는 소프트웨어 개발업체다. 기업들이 오디오·비디오 파일 같은 서비스 콘텐츠나 웹 콘텐츠처럼 형식이 정형화하지 않은 데이터들을 관리할 수 있게 도와준다. 아이온커뮤니케이션즈가 주력 상품으로 내세우는 서투리성 프로그램 ‘이폼(e-form)’은 회사의 특성을 가장 잘 보여주는 제품이다. 사용자들은 이폼을 통해 개인 정보 기재, 서명, 음성인식 등을 웹상에서 한 번에 해결할 수 있게 된다. 아이온커뮤니케이션즈는 국내에서 기업, 병원, 대학 등 400여 곳에 소프트웨어를 제공하고 있다.

오 대표가 처음 컴퓨터와 인연을 맺게 된 것은 ‘악필’ 때문이었다. “어릴 적부터 글씨체 때문에 고생했던 데 중학생이 된 뒤 컴퓨터에서 누구나 같은



서울 강남구 역삼동 아이온커뮤니케이션즈의 연구소 내부(왼쪽). 이 회사는 현재 직원 170명 가운데 연구개발을 담당하는 인력이 145명인 비율 정도로 제품 개발에 큰 힘을 쏟고 있다. 그 결과 올해 지식경제부가 지정한 우수기술연구센터로 선정되기도 했다. 아이온커뮤니케이션즈 제공



웹사이트 관리 소프트웨어
日시장 30% 점유- 업계 1위

“제품 문제였다” 日업체 항의에
현저로 건너가 신속대응 해결
일본소문 타고 계약 20년 연장도

실적 14년만에 160억 매출 성장

글씨를 쓸 수 있다는 사실을 알고 컴퓨터에 애착을 갖게 됐어요.”

대학에 진학해서도 오 대표의 컴퓨터 사랑은 이어졌다. 색안(色盲) 때문에 가고 싶었던 공대 대신 경제학과를 선택한 오 대표는 대학으로 컴퓨터를 공부했다. 이때 쌓은 지식들을 토대로 대학 재학 중 프로그래밍 재능을 내기도 했다.

공부를 하다 보니 현장에서 뛰고 싶다는 욕심이 생겼다. 오 대표는 졸업 후 정보기술(IT) 컨설팅 회사를 차렸고 실력을 인정받아 대형 소프트웨어 업체에 기획실장으로 스카프됐다. 그러나 1998년 금융위기 때 부사가 부도나자 평소 비정형 데이터 시장을 눈여겨보던 오 대표는 이듬해 다시 자기 사업을 시작했다. 그는 “컴퓨터 기술이 발달할수록 비정형 데이터 시장은 성장할 것이라 확신이 있었다”고 말했다.

예상은 적중했다. 수년간 쌓은 노하우를 토대로 콘텐츠별로 다양한 제품을 개발한 아이온커뮤니케이션즈는 현재 직원 170명 규모의 업체로 성장했다. 지난해 매출은 160억 원이었다.

● 최종 목표는 미국, 유럽
오 대표는 미국, 유럽 시장 진출이 최종 목표로 하고 있다. 지난해 미국에 진출한 것만으로도 시장이 워낙 광범위할수록 높이기 쉽지 않다는 설명이었다.

그는 “현재 거래하고 있는 일본, 말레이시아, 인도네시아 지역의 성과를 토대로 유럽, 미국 등 더 큰 시장으로 진출할 계획”이라며 “최근 사이 등 국내 기업이 세계적인 인기를 끌면서 기업인으로서 많은 도움을 받고 있다”고 말했다.

오 대표는 우리나라가 IT 강국이라 하지만 그것은 일부 반도체, 초고속통신망 등에 국한된 것이라고 진단했다. 그래서 소프트웨어, 그것도 일반인에게겐 친숙하지 않은 비정형 데이터 관리 소프트웨어에서도 세계 일류가 될 수 있도록 노력하고 있다고 설명했다. 회사 운영에 어려움을 겪어내는 젊은이들은 “안정 생활”을 꿈꿨다. “업계의 특성상 연구개발 인력이 많이 필요하듯 수요에 비해 지원자가 부족하다. 새로운 것을 추구하고 도전하는 열정이 있는 젊은이들에겐 언제든지 문이 열려 있습니다.”

강홍구 기자 windup@donga.com

악필때문에 컴퓨터배웠는데...韓日 SW 1위

[IT프런티어] 아이온커뮤니케이션즈 오재철 대표, “SW개발자는 창조자되야”

900여명 인원으로 구성된 아이온커뮤니케이션즈는 2012년 8월 24일, 서울 강남구 역삼동 소재의 연구개발 센터에서 기자들을 초청한 가운데 ‘2012년 하반기 SW개발자 채용’을 알리는 행사를 열었다. 이날 행사에는 오재철 대표가 참석해 SW개발자의 역할과 중요성에 대해 강연을 했다. 오 대표는 “SW개발자는 창조자여야 한다”며 “기술이 발전할수록 비정형 데이터 시장은 성장할 것이라 확신이 있었다”고 말했다.

오 대표는 “현재 거래하고 있는 일본, 말레이시아, 인도네시아 지역의 성과를 토대로 유럽, 미국 등 더 큰 시장으로 진출할 계획”이라며 “최근 사이 등 국내 기업이 세계적인 인기를 끌면서 기업인으로서 많은 도움을 받고 있다”고 말했다.

일본 소프트웨어가 선택한 모바일 전자 계약 솔루션

제품 카탈로그, 판매 및 계약, 상담 및 접수, 제품 지원 관리, 판매 및 지원 관리

이온 커뮤니케이션즈 (I-ON COMMUNICATIONS)는 모바일 전자 계약 솔루션을 제공합니다.

ありがとうございました。

I-ON Communications

Company profile

2017.02

I-ON